

2023. 02.26.携挙はもういつでも起こる

第二ペテロ 3 章 3 節から 4 節

JD ファラグ牧師

主よ、今の賛美のように、あなたの恵みは私たちの生活に十分です。主よ、あなたが与えられたこの場所で、信徒の家族として集えるこの時間を感謝します。主よ、私たちの心に思いに語りかけてくださいますか？ あなたの力強い御言葉に感謝します。主よ、御教えと愛で、私たちを励まし正してください。また、この時間を祝福ください。全ての言動にあなたに栄光が帰されますように。イエスの力強い御名において祈ります。アーメン。アーメン。おはようございます。ようこそ。ご着席ください。来てくださり嬉しいです。ようこそ。オンラインでご参加の方も歓迎します。嬉しい限りです。今朝は始める前に、ちょっと嬉しい報告があります。ここでスティーブと奥さん、娘さんをお迎えしたいと思います。第一礼拝で、かなり上手く言えたと思います。ミカエラ。（娘さんの名前）もう一回やってみます。ミカエラ。いい感じでしょうか？ スティーブ：「そうです。」JD 牧師：「そうですね。」とにかく、スティーブはフィリピンで宣教をしていて、最近、私たちは手を取り合い彼を応援しています。今朝、フィリピンでの神の御業について、分かち合っていたくようお願いしました。ありがとうございます、JD。おはようございます。（フィリピン語で挨拶）フィリピンではこう言います。アロハ。今日はフィリピンでの主の御業を皆さんに分かち合う名誉と特権に感謝します。私の後ろのスライドは、神がフィリピンでどのように働いておられるのかを見ていただけられるでしょう。祈りに答えてくださった主に感謝します。このキリストの体が、フィリピンでの宣教のパートナーとなり私たちを祝福されました。神は本当に素晴らしいです。私はスティーブ・ホワイト、こちらは美しい妻ハーリン、そして愛らしい娘ミカエラです。私たちは、フィリピンのボラカイ島とパナイ島で宣教しています。この 2 つの島の 900 人近くの人々と触れあうミニストリーです。私は、元ビジネスマンで、カネオへの住人です。以前は、ハレイバのノースショア・クリスチャン・フェローシップの理事を務めていました。それは、神が私を旅に召されるまでのことでした。なんとという旅だったでしょう。2017 年、やもめの私は短期宣教旅行でフィリピンに行きました。当時、私は夢のような仕事に就いていました。自宅で仕事をし、上司は 6 つの時間帯を隔てたところにおいて、ハワイとアラスカにそれぞれ一人ずつお客さんがいました。これ以上のことってありますか？ 私は快適でした。確定拠出型年金を蓄えていました。ゆとりある老後を考えていたのです。ええ、「しかし、神は。」そう、その伝道旅行中に、私の人生設計が突然変わり始めました。箴言 16 章 9 節

「人の心はその道を思いめぐらす。しかし、主が人の歩みを確かにされる。」

とあります。私はすぐに、自分が間違った方向に進んでいると気付きました。主は方向を変えようとしておられたのです。私はそこで、社会から疎外され、不可触賤民とされてきた貧しい人々の困難や苦難を体験し学びました。主はすぐに私の心に働き始められました。突然、カネオへでの快適な生活が、あっという間に最小限になりました。そして、主が私の心に刻まれたことは、弟子たちに語られた御言葉、「マタイ 28 章 19 節 20 節」です。

「ですから、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。父、子、聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたがたに命じておいた、すべてのことを守るように教えなさい。見よ、わたしは、世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。」（マタイ 28：19-20）

私の短い人生で学んだことは、神が「行きなさい。」と仰ったら、「ノー」と言うてはいけないことです。そして 2018 年、私は夢の仕事を辞め、所有物を売り、主の「行きなさい」という召しに答えまし

た。信仰で一步を踏み出し、主が導かれる人に福音を伝えるために。それがたまたまフィリピン中部ビサヤ諸島のボラカイ島とパナイ島の教師、生徒、コミュニティグループでした。神は、私に全く新しい方向、全く新しい計画を与えてくださいました。ボラカイ島のジュビリー・アカデミーは、島民の労働者が対象の学費制の学校です。この学校の特徴は、イスラム教徒の村のすぐ隣に位置しています。生徒の25%以上が、イスラム教の子どもたちです。彼らは、教会の礼拝に参加し、聖句を暗記し、神の御言葉を学びます。私たちは、子どもや保護者にイエスの愛を分かち合います。もうひとつ、パナイ島には、MASA ATI スクールがあり、ATI という先住民専用で、でない「不可触賤民」と呼ばれます。肌が黒いために社会から疎外されてきた人たちのコミュニティです。社会の陰に隠れ、山麓にひっそりと暮らし、未開拓の人々で、多くが次の食事に苦勞しています。また、周辺地域の牧師や教会指導者のための神学校プログラムも統括しています。毎月、マニラから教授を呼び、2 日半の講義をしてもらいます。参加者は、10 カ月で修了証書を、4 年で神学校学位相当の資格を取得できます。私たちは彼らに住まいと食事を提供します。彼らは、島までの交通費しか払いません。私たちの主は、予期せぬ事態にも備えてくださいました。2019 年、主は私にハーリンとミカエラを祝福してくださいました。2017 年に初めて、ハーリンに出会ったとき、彼女はそれまでの 4 年間、ボラカイで給食事業や作業をリードしていました。彼女が子どもたちに愛情を注ぐ姿を目の当たりにしました。彼女は子どもたちに賛美と礼拝と祈りを捧げ、聖書を教えるのです。親が不在で、他の親族と陰で生活し置き去りにされた子どもたちを愛してやまないのです。そんな子どもたちと分かち合った彼女の愛は、強力に広がっていきました。そして、2019 年 8 月 31 日、私たちは家族になりました。一 拍手一

さらに、祝福はそれだけではなく、私は生まれて初めてパパと呼ばれるようになりました。こんにちミニストリーは、地域社会全体で成長を続けています。最近、ATI 大学生のためのミニストリーになっています。私たちは、彼らに未来と希望を与え神の約束に生きるよう、彼らを励まします。貧困の束縛を断ち切り、彼らが住む地域社会から排除されることから解放され、偉大な「わたしはある」の御父がおられることを知るために。神は、私たちの想像を絶する方法で、常に最善、祝福、提供することをお考えです。しかし、そのためには、私たちの行動が必要です。私たちは起き上がり、神の召しに応え、信仰で一步を踏み出さねばなりません。必ずしも地球の果てまで行く必要はありません。あなたの家の裏庭にも、宣教の場がありますよ。あなたの同僚に、住んでいる地域に、教育委員会に、行って、イエスが命じた通り世の光となればいいのです。覚えてください。神が「行きなさい」と仰れば、ノーと言わないでください。神のご計画は、私たちの計画よりもはるかに偉大です。神の祝福が皆さんにありますように。フィリピンで神がなさっていることの素晴らしい一部であることに感謝します。(フィリピン語で)神にご栄光を。

JD：マック牧師とレイトゥ牧師に上がってきてもらって、按手で祈ります。よろしければ、一緒に祈りましょう。

天のお父様、ありがとうございます、ありがとうございます、主よ、本当にありがとうございます。スティーブと彼の家族、彼らへの使命、召しに感謝します。お～神よ、さっきの賛美のように偉大な御業をなさっておられます。偉大な御業です。あなたが偉大な神だからです。主よ、彼らが火曜日に帰るとき、あなたが彼らの前を行かれるよう祈ります。あなたが彼らのためにおられます。あなたはいつも提供なさいます。主よ、あなたが彼らを守り、導き、養ってくださるよう祈ります。ここにいる私たちにとって、その一部であることは、なんとという特権で名誉でしょうか。主よ、彼らのために祈れるよう、彼らを私たちの心に置いてください。彼らの為に、あなたがフィリピンでされていることを祈ります。

フィリピンの人たちのために祈ります。お～主よ、あなたはフィリピンを愛しておられます。明らかです。主よ、私たちは知っています。

「収穫は多いが、働き人が少ない。」（マタイ 9：37）

召しに応えた忠実な働き人たちを感謝します。主よ、彼らを感謝します。彼らの上にあなたの祝福がありますように。イエスの御名によって祈ります。アーメン。ありがとう。祝福がありますように、JD。一拍手ー 本当にありがとう。

おお！なんという祝福でしょうか。私がそうであったように、皆さんに励ましと祝福になったでしょう。主が心に置かれたように、彼らのためにお祈りください。彼らは最前線にいますからね？ それでは、「第二ペテロ 3章 3節から4節」が今日の箇所です。再び、2節だけです。その理由はわかるでしょう。可能な方はお立ちください。ご無理なら、座ったままで結構です。私が読むのについて来てください。使徒ペテロは、彼のこの最後の手紙の最終章にこう続けます。また今が告白する絶好の機会かもしれません。私は告白することがあります。本当に？

「う～牧師さん、何を告白するんですか？」ええ、わお～告白すると、私はこの2節をかなり前から楽しみにしていました。がっかりですか？ 理由はおわかりになるでしょう。使徒ペテロは、3節、聖霊によってこう言います。

ーII ペテロ 3：3ー

「まず第一に、心得ておきなさい。終わりの時に、嘲る者たちが現れて嘲り、自分たちの（邪悪な）欲望に従いながら、

ーII ペテロ 3：4ー

こう言います。「彼の来臨の約束はどこにあるのか。父たちが眠りについた後も、すべてが創造のはじめからのままではないか。」

彼らはそのまんま言います。ー(笑)ー では、祈りましょう。本当に祈る必要があります。

天のお父様、ありがとうございます。主よ、今朝、私たちの前にあるこの箇所を感謝します。あなたが私たちの心を落ち着かせ、思いを静めてくださることが必要です。私たちの思考は、いつも忙しく、気が散ってしまいます。あなたに全集中したいからです。特に、この問題について。明らかに、ペテロの別れの言葉として語るには、十分重要的なレベルだからです。ですから、私たちは語る必要があります。主よ、私たちがそうする時、聖霊によってあなただけがお出来になれる通り、私たちの教師になってくださいますように。主よ、私たちの教師として、私たちが教えられやすくなりますように。私たちは、ただ御言葉を聞くだけでなく、御言葉を実行し、あなたの御言葉を心に留めますように。主よ、イエスの御名によって祈ります。アーメン、アーメン。

ご着席ください。ありがとうございます。では、今日は何の話だと思えます？ このタイトルにしたのは理由があります。嫌味を言うつもりはありませんよ。まず、そんなことをする必要はありません。簡単な事ですよ。どうもありがとう。でも、このタイトルを選んだ理由は、ペテロのこの預言によると、終わりの日に、どうやらこう言う人たちがいるからです。

「いや、主は来られない。」彼らは「主は来られない」と言うだけでなく、「主がもういつでも来られる」と”信じている者”をあざ笑います。今日、このことが聖書から飛び出してくるのを私たちが見るよう私は祈ります。全てがこのことだからです。敵がこんなことをするのはなぜか？

これが私たちの唯一の希望だと敵は知っているからです。敵がこの事でクリスチャンを捕えれば、思うつぼです。あなたの希望を奪いたいからです。イエスは言われました。

「盗人が来るのは、盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするためにほかならない。」(ヨハネ 10:10)

敵は何を盗み、殺し、滅ぼしたいのか？ 敵はあなたの喜びを盗み、希望を殺し、あなたを滅ぼしたいのです。一旦、敵に私たちが希望のない状態にされれば、敵の思うつぼです。だからこそ、聖霊によってペテロがこの難題に真正面から取り組みました。ペテロがそうするのが、とても嬉しいです。

つまり、これもまた、私が大変楽しみにしていた理由の1つで、もし、これ以外の理由がないなら皆さんが私と同じなら、そうだと思いますが、こういう嘲笑う者に、嘲笑された経験があるでしょう。時にひどくなって、そうでないことを願いますが、私も誰より有罪だと思いますが、あまりに嘲笑されるので、特に彼らと一緒にいると、トーンダウンしてしまいます。彼らは、私たちを嘲るからです。彼らは私たちを笑い、バカにします。私たちはここで、主の来臨を待ち望み、もういつでも来られると見張っています。このコメントは以前にも言いましたが、再度言うのが適切かもしれませんね。これは大げさな表現ではなく、文字通りです。もし、患難時代前携拳でのイエス・キリストの差し迫った来臨という健全な教義がなければ、私は気が狂ってしまうでしょう。その希望を奪われたら、私はもうおしまいです。これだけで朝、ベッドから出られるんです。これを知りながら、期待しながら、「ほ～～！」

さあ、思い出してください。私たち地元民だから。「ほ～～！」※ハワイでよく使われる表現

「今日かもしれない！」

夜、寝る時の唯一の助けは、こう知っている事。

「明日かもしれない。今夜かも！」

主は盗人のように夜やって来ます。(Iテサロニケ5:2)

ですから、今夜はどう？ 良いタイミングですよ。実は、「聖書預言・アップデート」でその話をしました。ですから、全ての中で敵があなたから奪いたいものは、これではないですか？ ペテロがここで預言したように、敵がこの終わりの時に一定の成功を取めたと思いませんか？ 興味深い事に、私が患難時代前携拳について話す度に、あちこちから殺到するんですよ。彼らの多くは、ネット荒らしでしょう。多くではありませんが、幾人かは、実際にキリストの兄弟姉妹だと推測します。何とも、とても悪質で辛辣、下品とさえ付け加えておきます。まるでそういう感じで、携拳については語ってはいけないの??

「いいえ。携拳は起こりません！」

私の聖書には、あると書いてあります。

「さあ、覚悟を決めて身をかがめなさい。私たちは患難時代を経験するんだから。」

私の聖書には、そんなことは書いてありません。

「第一テサロニケ4章」で、使徒パウロが、新しい信徒でいっぱいこの若い教会に、聖書預言、特に患難時代前携拳を教え、彼らにこう教え、書いています。

「ラッパの響きとともに、まずキリストにある死者がよみがえり、それから生き残っている私たちが、引き上げられ、ギリシャ語ハルパツォ、ラテン語ラプトゥル携拳され、空中で主に会うのです。

(Iテサロニケ 4:16-17 参照)

そして、その最後にパウロはこう言います。

「ですから、これらのことばをもって互いに励まし合いなさい。」(Iテサロニケ 4:18 参照)

今あなたがたがしているように。お付き合ってください。もし、携拳が7年の患難前でなかったら、それは残酷です。

「あ～携拳は、斬首された後ね。人口の3分の1が死ぬのだから。」

だから、励まし合って。これらのことで、互いに励まし合いなさい。」

本当に？ あなたはゾッとさせてますけど。ちょっと待ってください。「黙示録 3 章」でイエスがフィラデルフィアの教会に語られたことはどうです？ あなたはわたしの言葉を守り、他の者のようにわたしの名を否まなかった。わたしはあなたを全世界に来ようとしている試練の時から守ります。（黙示録 3：8 参照）

それが 7 年間の患難時代です。

「持ちこたえるのです。見よ、わたしはすぐに来る。」（黙示録 22：12）

「なんとか踏ん張りなさい。かろうじて持ちこたえているのは分かっています。少しばかりの力しかないのは分かっています。でも、踏ん張るのです。わたしは来る。この滅び、死にゆく、悪の世から、あなたを救い出します。わたしと共にいるよう、あなたを引き上げます。持ちこたえるのです。」

「分かりました。持ちこたえます。あとどれくらいですか？」

再度、このタイトルにした理由は、まだ前置きですからね。もうすぐ本題です。私がこのタイトルを選んだ理由は、「人々が言うこと」にも関わらず、「人々が言うこと」とは、ペテロが人々が言うであろうと言っていることです。きちんと言ってます？ そうだといいいんですが。人々が何と言おうと、私たちの祝福された希望、唯一の希望は、いいですか？ もういつでも起こります。そうなんです。祈って終わらしましょう。そうなんですから。「違う～～。」と嘲笑が続きます。そして、あざけりとあざ笑いが。私がしたいのは、よろしければ、教会携挙での主の来臨を彼らが、「なぜ」嘲るのか、もちろん「何を」嘲るのか、「どのように」嘲るのか、です。

まずは「なぜ」、3 節からです。なぜ彼らが、あざけり嘲笑するかというと、彼らは何者で、何をして、何をしたいかが露呈するためです。なぜ彼らが、あざけり嘲笑するかというと、彼らは何者で、何をして、何をしたいかが露呈するためです。彼らは自分の邪悪な欲望に従い続けたいからそうするのだと、ペテロが語る事に注目してください。そう、ペテロはこの後この章の残りの節で説明しますが、ここ 3 節に書いてあることが、それを見事に言い表しています。納得ですよ。聞いてください。もしあなたが、イエス・キリストの来臨を削除するなら、同時に、裁きも削除します。つまり、主が戻られないなら、主の御前に立つ必要はない。主が戻られないなら、私は主から裁かれない。私は、この罪深い生活を続けるため、言わば許可を得る為、主の来臨を取り除かねばならない。もし、主の来臨を取り除けば、主の裁きを取り除くことになるから。それが理由です。だから彼らは、嘲笑するのです。（嘲笑されることを）個人的に受け取らないでくださいよ。言うは易く行うは難し、ですよ。誰かに馬鹿にされ、嘲笑され、笑われて、「え、まだそれを信じてるの？」私たち、この神の男性女性はこちらです。私たちは身を縮めて...「ええ、そうなんです。わからないけど、それは悪いこと？」「ああ、誰がそんなことする？」「ええ、私は前はそうだった。」何が起こったかわかりますか？ これが陰湿～～で、狡猾～～で、サタン的～～。加えておきます。これが敵の戦術です。敵がこれで私たちを捕えられると知っているなら、敵は私たちを捕えます。主がもうすぐ来られないとしたら、それなら？ わお～～。。。

つまり、ああ...主の喜び...私の希望はどこ？ イエスが私のためにもうすぐ戻って来られなければ、私は何に、誰に希望を置くのですか？それが今や突然、禁じられます。私は嘲笑されるから.....

こんな風に考えてみてください。あなたが子どもの頃、学校でいじめられたり、バカにされたり、からかわれたり、あざけられたら、どうでしたか？ 今はもっと悪いですね。大人だから。少なくとも、その筈です。大人としてあなたは、子どもの頃と同様です。一緒にその場面を思い浮かべてください。教室で、クラスメイト全員があなたの言動や服装を嘲笑する。あとは分かれますね。

では、あなたはどうなりますか？ あなたは圧力をかけられ、同調圧力と呼ばれます。妥協するために圧力をかけられます。あなたが馴染むなら、受け入れられます。自分だけたった独りで立つのは嫌ですから。特に、子どもにとって、最も恐ろしいことで特に神の子にとって、そうです。私は牧師として、何度もこう思ったことがあると率直に認めます。特にこの3年間、2年間ではなく3年間。

「これは他のみんなが言ってるのと違うし、馬鹿にされ嘲笑されるだけだ。」実話です。
ある牧師が私のことをこう言いました。

(引用) 「彼のチーズはクラッカーから滑り落ちた。」 (おかしくなったんだ)

うあ〜わっ!!! 本当? とても傷つきます。いいえ、個人的に取らないでください。なぜ私にそんなことを言うのですか? なぜ私のことをそんな風に言うんですか? つまり、私は、パウロがテモテに書いたように、主の来臨を待ち焦がれているんです。パウロは人生の最後にこう言います。

「私に何が待ち受けているか知っています。私は戦いをりっぱに戦いぬき、走るべき道を走りつくしました。」 (II テモテ 4:7 参照)

今、私がこの地上の幕屋を離れる時が来ました。彼は、もう自分があまり長くはないと知っていました。パウロは、今にも去ろうとしていました。これはテモテへの別れの言葉です。パウロは何が待ち受けているか言いました。「義の栄冠です。」私だけでなく、主の「現れ」を”慕い求めている人”には、だれにでも授けてくださるのです。「再臨」ではなく「現れ」区別があります。聖書を通して見ることができます。主の「再臨」と「現れ」です。それが同じものなら、余分な記述です。違います。「再臨」と「現れ/来臨」は区別されます。携挙の時、主は来られるのではなく、現れて、私たちを引き上げられます。こう言われます。携挙のときは、イエスが私たちのために来られる。7年(患難時代)の終わりの再臨の時、イエスは、何万人ものイエスの花嫁の私たちと一緒に来られる。ですから、あなたが私に言っている事は、これはある種、こんなフレーズを許してほしいのですが、よろしくないですね。これは.....枠から外れているというか。「なぜトーンダウンしないの?」トーンダウンですって? 私は引き上げられるんですよ。なぜ私がトーンダウンするのですか? 私は屋上から叫びたいです。基本的に毎週そうしていますけど。そして、最前列の皆さんに唾も飛ばしています。-(笑)- これが真実です。考えてみてくださいよ。もしこれが真実なら、はい真実ですが、こうなりませんか? あなたは私を抑えられませんよ。あなたは私を抑えることなど、絶対できないですよ。彼らがこういうことをするからといって、怯まず、くじけず、縮こまらないで下さい。それこそ敵の思うつぼだからです。私たちの中で、皆さん誰かご存知で、この話をするときには、なるべく人の顔を見ないようにするんですけど、聖なる方法で、あなたの決意を強くします。こんな感じです。

「そうなのですか? 私の主への熱意、情熱、期待を封じようとするのですか? 倍返ししてやる。どうだ?」-(笑)- 聖なる方法で、です。こんな言葉を使うとき、私は誰の顔も見ないようにしています。でも、私の言っている意味はわかりますよね? あなたがこれをする最たる理由は、私が萎縮するのではなく、倍返しする正にその理由です。いいえ、主はもう来られます。ところで、ご主人、奥様方、敬意持って言いますが、その際、ちょっと角を立てながら、しかし、彼らがこう言う時、

「主の来臨の約束はどこにありますか? ずっと聞かされてきたことですよ。曾曾曾曾曾曾.....曾祖父の、犬が生きていうちだと思いましたよ。主は来られない。」

昔はちょっと過激な感じだったんですけどね。「昔は、ですか?」と仰る方もいらっしゃいますが。

-(笑)- ええ、今でもそうかもしれませんね。

再度、聖なる方法です。でも今度、彼らがそう言ったら、「第二ペテロ 3章」を開いて、「待って。も

う一度言ってみて。さあさあ。なんて言った？ ああ、それをあなたが言うと、神の御言葉が仰っています。ですからどうぞ、それを言い続けてくださいよ。主の来臨について、あなたがそう言い続けければ、主の来臨が近付いていることを意味するからです。だから、さあやってください。」

おかしいです？ それが、ペテロが言っていることです。私たちはしばしばそれを見逃してしまいますよね？ のっけから、ペテロが言いました。「覚えておかねばなりません。」

キーワード「あなたは忘れたのですか？」

終わりの時に、私たちは終わりの日にいますか？ 終わりの日だと信じたほうがいいですよ。私たちは終わりの時にいます。ペテロは言いました。「これが彼らが言うことです。」OK。

ここでいくつか点と点をつなげてみましょう。なるほど、誰かがそう言っています。誰かだけでなく、皆がそう言っている。終わりの日、彼らはこう言うだろう。彼らはこんなことを言うのだから、私たちは間違いなく終わりの時にいます。初歩的すぎますか？ しかし、それが理由です。彼らは自分たちが正に神の御前に立ちたくないから削除する。再度、ペテロがこのことを解説しますが、この理由は、まさに格言のように核心をついています。彼らは、このまま罪深い生活を続け、邪悪な欲望に従おうとします。しかし、イエスが戻られるから、彼らは問題を抱えます。イエスが戻られるなら、私は御前に立って申し開きをします。それが問題です。では、どうするのか？ イエスが戻って来られるのを排除しないと。それが理由です。わかりますか？ では、「何」を話しましょう。これは、当然のことの把握です。しかし、そう慌てずに。この全て、サタンが押し込め、狙いを定め、嘲笑うのが、これでは？

それは何を物語っていますか？ 嘲笑されることって結構ありません？ なぜ具体的に主の来臨なのか？ ああ～よろしければ、もう一步踏み込んでみます。

しかし、患難時代前携挙が近づくとつれ、患難時代前携挙に対する攻撃は、桁外れにエスカレートしています。それには理由があります。その理由は何だと思えますか？ 患難時代中間説への攻撃はないことにお気づきですか？ そうでしょ？ 患難時代後説はどうですか？ セっかくだから.....今から攻めますよ。(笑) 私にとって、後？ 7年の患難時代後に携挙ですか？ うわ～っ！ バンジージャンプみたいになりそうです。携挙されるかと思いきや、すぐに下に落ちて落ちる。とにかく、意地悪言うつもりはありませんが、それって馬鹿げていますよ。でも、なぜ？ なぜいつも私や、私の患難前携挙を指摘するの？ なぜなら、携挙は患難時代前だからです。いや、お付き合いください。彼らが嘲笑するものは、まさに彼らが嘲笑するものを認証し検証します。真理を嘲笑する事実のおかげで、偽物が、実は本物を証明する典型的事例です。

例と比較で見てください。なぜ人々は、イエスの御名だけを取り上げ、呪うのか？ 誰かがこう言うのを聞いたことありますか？「おお～、仏陀！」馬鹿げてますが、皆さんポイントはわかりますよね？ いや、仏陀は神ではないから、仏陀にはそうしないでしょ。イエスが神です。神が長年にわたり、イスラム教徒に対して、私の心に深い働きかけをなさっています。私は中東出身ですから、スティーブと話して一番感動したのは、モスクのすぐ隣に学校があるのを見せてもらったときです。おお、主をほめたたえます。イエス様、ありがとうございます。しかし誰も、モハメッドの悪口をあえて言いません。そうですよね？ なぜか？ モハメッドは偽預言者でアラーは偽りの神だからです。ちなみに、アラーは神の称号ではなく、彼らの偽りの神の名です。だから、アラーと唱えると、神と言っているのではなく、彼らの神の名前を唱えているだけで、アラーは「エホバ」と同じではありません。エホバの神とは違います。そこで再び、比較の話に戻ります。では、あなたや私のイエスの御名を誰かがむやみに口にすると、彼らは何と言っているのか？「イエスは本物である。」

イエスは言われました。「わたしは”その”道であり、ひとつの道ではありません。”その”真理であり、”その”命である。だれでもわたしによらないでは、父のみもとに行くことはできない。」（ヨハネ 14：6）

だからです。わざわざ偽りの神を攻撃する必要はないでしょう。それって、70ドル札を偽造するようなものです。皆さんに伝わってますように。それが私の精一杯です。ー(笑)ー なぜ 100ドル札だけ偽造するのか？ 100ドル札は本物だから。とすると、偽物が本物を認証・検証・証明しているのでは？ それなら、あらゆる中で彼らがこのことを嘲笑するのも納得です。そのことは、私たち一人一人を励ますはずです。嘲笑い屋さん、嘲笑さん、嘲り屋さん、ありがとうございます。今作った単語です。ー(笑)ー どんな単語でもいいので、空欄を埋めてください。品よくね。悪い言葉は使わないように。でも正確に、そうされるたびに、私のイエスとその来臨が真実だと検証し、認証し、証明しています。以上。それがこの全てです。そういう攻撃が立証します。全てを語る時、つまり、かなり長いリストにもなり、お望みなら、そのリストを見れますよ。でも、これ1つだけでも？ それが正に物語っています。では残り時間を使って、4節の後半の3つ目「どのように」を取り上げます。「どのように」私たちを嘲笑するか。私たちは「理由」が分かり、「何」が分かり、でも、「どのように」やって来るのか？ うー。どのように彼らは携挙と再臨を嘲笑するのでしょうか？ ちなみに、携挙なしで再臨はありません。再臨なしで携挙はありません。大丈夫ですか？ で、彼らはこういうやり方です。「今まで起きなかったから起きない。」わかりましたか？ 最初はこうでしょう。「いつでも起こるんですよ。」「いや、でも今まで起こっていないから、起こらないよ。」どこの世界にそんな論理があります？ それは全く意味がありません。では、嘲笑屋さん、嘲り屋さん、整理してみましようか。擬人化しますけど。確認させてください。神の御言葉で起こると仰ることが、今まで起こっていないから起こらないと言うのですか？ 皆さん、ついてきていますか？ あなたがそう言うなら、そう言いますが、起こることや起きていないことが神の御言葉より優先しているように私には聞こえます。なぜなら、聖書が最終決定権です。神がそう仰ったなら、決定事項です。これが今日の「聖書預言・アップデート」で少し話した理由です。最後まで聞いてください。私たちは、神の御言葉や御言葉の神を知らないことが最も容赦されない時代に生きています。ですから、嘲笑屋さんや嘲笑い屋さんの人に「イエスは来られない？」「ええ、今までイエスは来られていない。主が約束されたこの来臨はどこにある？ 主は来られていないし、来られない。」「おお、主は来られないの？」頼みますよ。「あなたは、今まで来られていないから来られないと思うのですか？ お～、いやいや、ここ。座って。話をしましょう。いや、主は来られます。」「どうして分かるんですか？」「主がそう仰ったからです。」主は約束されました。ペテロが聖霊によって、この言葉を使うよう注意していることが興味深くありませんか？

「来臨の”約束”はどこにあるのか。」（Ⅱペテロ 3：4）

その微妙な感じが分かりますか？その核の意味は、「神は約束を破られる。」園（エデンの園）の蛇に聞こえませんか？「神は本当に言われたのですか？」（創世記 3：1）

そう、私が神の御言葉と御言葉の神を知らなければ、疑問を持ち始め、疑い、前後に揺れ動き、あちこち翻弄されます。あちこち揺れて「そうなの??？」と。違います。神の御言葉に堅固で健全であるべき時があるとしたら、今です。なぜなら、これからもっと悪くなるからです。さらに悪化します。つまり、今も十分悪いですけど、もっと悪くなると想像した方が良いです。あなたも私も準備万端にしたほうがよいです。もしも、ではなく、彼らがやって来てこう言うその時、

「神は本当に約束されたのですか？ 神は本当に？ ええ、聖書にそう書いてあるのは知ってるけど周

りを見てよ。すべては今まで通りだよ。これまでずっと。あなたたちは何年間、そう言い続けているの？」「お～でも神は主は戻られると”約束”されました。」「主の来臨の約束はどこにあるのか。」それが彼らのやり方です。つまり、自分自身に正直になれば、言い方はマズいですが、これは最悪だと認めざるを得ません。敵はそれを知っています。私たちは、神の御言葉の堅固な強い土台の上に、しっかり強く立つべきです。そうすれば、嘲笑の嵐が襲ってきても、私たちは倒れて潰れることはありません。私たちは強く立つ。繰り返しますが、自分に正直になれば、この件について、彼らにやられうると認めざるを得ないからです。どうしてか？「ええ、今、いくつか疑問はあって、ええ、どうなのでしょう。か。」と疑問や疑念を抱き始めます。ここからが大事なのですが、今、あなたは少し混乱していますね。「混乱」の作者は誰です？ 会衆から：S～～音（サタン）

あら、凄い。皆さんがして下さって。私は皆さんに何てことしたんでしょう。本当にごめんなさい。しかし、そう、サタンは混乱の作者で、偽りの父です。彼が疑いの種をひとつ植えて、あなたが少し混乱し始めたら、それが発芽して芽を出します。そして、次の瞬間には、「ああ、今はあまりわからない。」となります。あなたが「今はあまりわからない派」なら、愛を込めて言いますが、あなたをとても気の毒に思います。なぜ気の毒に思うのか？ それは.....聖なる哀れみです。あなたは本当に気の毒で哀れです。理由は、あなたがこの事に定住していなく、疑問符があるなら、敵はあなたに皮肉を言う事に成功します。

「ああ、そんな話したくない。」クリスチャンですよ。「ああ、携挙のことは話したくない。期待したんだけど、主は来られなかった。」

何年でしたっけ？1998年？（若くて）知らない人もおられますね。何でも良いです。覚えてますか？いや、88年です。失礼しました。88年。「イエスが、88年に来られる88の理由」主は来られませんでした。それで、それを書いた人は、再編成せねばならなくて、だから新書を出した。88年版の本、かなり安く、まだ売ってると思います。そして89年、「イエスが、89年に戻られる89の理由」何が起きたかわかりますか？

「もう、どうでもいいよ。分かったって。彼は来られない。」ハロルド・キャンピングのような人、何の役にも立ちません。覚えてます？ おお、何と言う事。「2012年です。...」5月だったと思います。5月22日だったと思います。あってます？ 誰か...皆さん知りたくもないでしょうし、思い出したくもないでしょう。私のような者にはそういう人は酷いです。彼らは、私の仕事を本当に大変にしました。これはペテロが言っていることですが、

「まず誰かが（携挙が）この日だと言うなら、彼らは間違いだと知っておくべきです。」

なぜなら、

「その日、その時は、だれも知らない。」（マタイ 24:36）

お～あなた知ってるの？ わお～ 内部情報を入手したんですか？ これは全部こうです。

「神が～私に～見せられた～～」 わあ！誰か私に見せて欲しいです。「神～～が私に～～語られた～～」欽定訳風音響効果。それもし始めないでください。そうではありません。そう、「箴言13:12」にあります。「望みを得ることが長びくときは、心を悩ます」敵はそれを知っているとは思いませんか？ ですから、私たちは希望を抱き起こす。それは祝福された希望です。「主に戻って来てほしい!!!」なのに、、、ああ。。。戻られない。この数年、本当に興奮したことが何度かありました。つまり、今や2023年です。「もう終わりだ。」という感じです。ここで気をつけないとね。良ければ、JD・キャンピングと呼んで下さい。（ハロルド・キャンピングにかけて）でも、何度か、これはそうかもと思

ました。私は本当に期待していて、それって何も問題ありません。何も問題はあります。患難時代前携挙という健全な教義を攻撃する最も悪質な人たちがいますが、彼らの主張は何かわかりますか？ ペテロがここで真正面から立ち向かいます。彼らの主張は、「それが起こらない時どうする？...いや、違います。いつでも起こります。...いやでも、それが起こらないと、皆がっかりして、離れていってしまう。それが、Falling Away 第二テサロニケ 2 章の「背教」ですよ。」

そうなんですか？ 皮肉なもので、第二テサロニケ 2 章 3 節の

Falling Away は「背教」ではなく

Catching Away「携挙」です。

信仰から離れることではなく、地上からの Departure「出発」です。神がそうしてくださるのが大好きです。あなたはその節を使っていますか？ あなたのお気に入り？ つまり、まず「背教」が起きないと携挙は起き得ないと言うことですか？「おお、凄いな。待つしかない。」ところで、背教をどう計れますか？ 信仰から離れ、堕ちていく人はいつの時代にもいます。それはまったく理に合わず、文脈にも合っていません。あの手紙の全体の内容は、「携挙」についてです。もう一步踏み込んでみましょう。彼らは、特に患難時代前携挙を攻撃します。何らかの形で、私たちに始めさせたいからで、例えば、教室の子どものようにこんな実験です。ご覧になったことがあるでしょうが、生徒全員に「2+2=5」を同意させ挙手させる。あなたはこうなる。「そうじゃない。」あなた以外、みんな手を挙げる。あなたは周りを見渡す。みんながあなたを見る。「どうしたの？躊躇ってるの？」「うん。それは間違ってる。」2+2 は、でも、あまりの圧力の強さで、結局、子どもは挙手する事が分かりました。それがこれです。それがこれです。私は手を挙げません。私は手を挙げません。

「ええ、でも JD 牧師、あなたは何年も携挙について話していますよ。」 わかっています。私の大好きなテーマなので、ご存知ないなら言いますが、これからも話し続けますよ。私が話さない時が来ますよ。ー（笑）ー 携挙が起こりますから。

最後にもう一つ、これで終わりです。ご忍耐感謝します。楽しいなことがあると、どんなことも乗り越えやすくなりますよね？（会衆：アーメン）ひっくり返して言います。私たちにこの楽しみがなかったら？ あなたはどうなりますか？ 私の希望は？ 祝福された希望なだけじゃありません。祝福された希望というのは、「テトス 2 章 13 節」、確かな希望なだけじゃありません。いや、むしろこうです。携挙は、私たちの”唯一の”希望。もしまだこの世に希望を置き、また、この国に希望を置くなら？ あなたの希望は主にはありません。

「主に信頼する（希望を置く）者は、だれも失望させられることがない。」（ローマ 10:11）

ひっくり返してみます。主以外の物や人に希望を置く者は、間違いなく失望します。私がこの希望に、親愛な命、永遠の命にしがみつけば、すべてが見通せるようになります。何度も言います。私たちが生きている時代、今は、あなたがこの希望を持たないなら、正直言ってあなたがどうするのか分かりません。本当にそう思います。意地悪を言うつもりじゃなく、心からそう思います。主は私の心を知っておられます。もしあなたに携挙がいつでも起こりうるこの希望がないなら、あなたはどうするのですか？ 私は、それがなかったら、どうしたらいいかわかりません。どうかどうかどうか、最後に、と言いましたが、これが最後の最後です。どうか、お願いします。懇願します。携挙の前にどんな物や人も置くのはやめてください。そうすると、あなたは私の主人の来臨を遅らせるからです。やめてください。

「あ～まずリバイバルが先ですね。」とか。聖書預言・アップデートでお話しました。「私たちが？おっお～ わお。それなら主は当分戻られない。周りを見てもリバイバルはないからね。」

「いやいや、ケンタッキーで起こっています。」いいえ～ 第一礼拝で話しましたからここで置いておきます。「いやいや、私たちはまず、教育や政府など、すべてを支配しないと。」私たちが？ お～違います。私を今すぐ撃ってください。私を不幸から解放してください。これからどうしたらいいのですか？ 主が、主が.....主が来られないという意味ではなく、”まだ”主は来られていないんです。理由は、あなたが、教会携挙の前に何かを置いたからです。そうすることによって、あなたは差し迫った健全な教義を破壊し、潰しました。差し迫った、とはどういう意味ですか？ 私はこの言葉が大好きです。なんだか、言葉の一つ一つに響きがあるような気がします。Imminent：差し迫っている。Any minute：今にも。－(笑)－ もう一度やってみましょう。これも、し始めないでくださいよ。

In a minute：すぐにでも。

It's imminent：差し迫っている。

Any minute：もういつでも。

では、ここで置いておきます。－拍手－

ほ～～！もう一度、ほ～～！ もう今～～！よっしゃ～～！！ 主よ、ありがとうございます。私は励まされ、強くなります。私の希望を新たにします。もう今にも起こり得るから。

Any minute：もう今にも。

OK。カポノ、Any minute：もう今にも、上がって来てください。ご起立ください。祈りと賛美で締めくくりましょう。はい～ 主よ、あなたをご存知です。は～この件に関しては何時間でも続けることができます。私がこれを言って祈るとき、ここにいる兄弟姉妹を代表しています。本当に私たちは、あなたの来臨を待ち望んでいます。それが私たちの希望、唯一の希望です。私たちは今、希望のない世界に生きているからです。この世は死につつ、滅んでいっています。しかし、主よ。あなたは私たちをこの世から連れ出すために来られます。私たちはこの世にいますが、この世のものではありませんから。私たちはこの世とこの世の物への愛着を捨て、あなたとあなたの間近な来臨への愛を新たにします。私たちは、一時のために創造されたのではなく、永遠のために創造されました。この世は私たちの家ではありません。私たちはただ通り過ぎるだけです。私たちがここにいるのは、ほんの少しの間だけです。私たちの人生は霧のようだとヤコブは言います。霧は、消えてしまうのです。非常に束の間です。でも永遠は、永久に続きます。ですから主よ、聖霊によって、あなただけがお出来になる通り、落胆している人をどうか励ましてくださいますように。絶望している者に希望を新たにし、弱き者に力を与えてください。今日、私たちが来た時と同じように、ここを去ることがありませんように。あなたが来られることを”知っている”からです。携挙はもういつでも起こり得ます。お～主よ、主イエスよ、早く来てください。マラナタ。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7